2026 年 11 月 24 日

マーケットレポート

11 月 20 日の国内株式市場は大幅下落

◆概要

2026 年 11 月 20 日の国内株式市場は大幅に下落し、TOPIX（東証株価指数）は 3,674.22 ポイント（前日比 148.25 ポイント安）、日経平均株価は 56,436.65 円（前日比 3,007.56 円安）と約 7 か月ぶりの安値で引けました。1 日の下げ幅としては歴代 5 番目の大きさとなりました。

19 日の米国株式相場が大幅下落した流れを引き継ぎ、東京市場でもソフトバンクグループ、キオクシア、フジクラ、アドテストなどの人工知能（AI）・半導体関連株を中心に、幅広い銘柄に売りが広がりました。また、日本たばこ産業（JT）も、ロシア事業がロシア政府の一時管理下に置かれたことを受け、19 日にロシア子会社を連結対象から除外し、2026 年 12 月期の連結最終損益が赤字になる見通しであることを発表したことから、20 日の株価は前日比 10%超の大幅安となりました。国内債券市場においては、日米株式市場の下落を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、相対的に安全な資産とされる債券の買いが優勢となりました。

◆株式市場および債券市場の推移

＜国内株式市場および債券市場の推移＞

		11 月 19 日	11 月 20 日	前日比	騰落率
株価指数	ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	3,822.47	3,674.22	▲148.25	▲3.88%
	日経平均株価（円）	59,444.21	56,436.65	▲3,007.56	▲5.06%
金利	10 年国債利回り（%）	2.842	2.800	▲0.042	－

（出所）Bloomberg のデータをもとにゆうちょアセットマネジメント作成。

＜米国株式市場の推移＞

		11 月 18 日	11 月 19 日	前日比	騰落率
株価指数	ＮＹダウ（ドル）	50,198.17	49,097.06	▲1101.11	▲2.19%
	Ｓ＆Ｐ５００	7,323.63	7,175.83	▲147.8	▲2.02%

（出所）Bloomberg のデータをもとにゆうちょアセットマネジメント作成。

◆今後の注目ポイント

世界的な AI 投資の採算性への警戒感が高まり、短期的には不安定な値動きとなる可能性はあります。しかしながら、安全保障の観点から米国では AI 開発が止まるとは想定しにくいとの市場関係者からの声もあり、高い需要が続くことが見込まれる AI 関連銘柄の収益に対する期待は変わらず高いと想定されます。それに加え日本企業の資本効率改善に向けた動きも、中長期的には株価の下支え要因になると考えられます。

国内債券市場では、国内外の株価下落を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まっていることに加え、日銀が金融・経済情勢を慎重に見極めるとの見方から、当面、金利の上昇余地は限定的になるとみています。

以上

【ご留意事項】
●当資料は、ゆうちょアセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
●ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
●投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
●投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
●当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
●当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
●当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

ゆうちょアセットマネジメント

商号：ゆうちょアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 2879 号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料は、ゆうちょアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。